

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月13日

京都府知事 様  
京都府保健所長



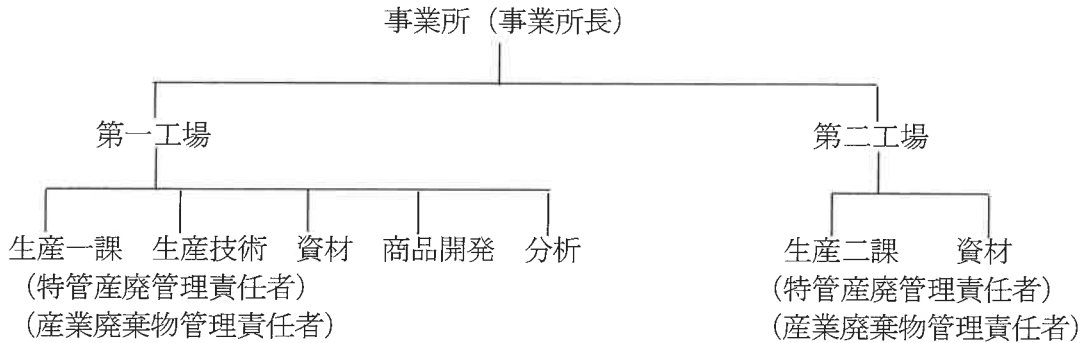
提出者  
住 所 福知山市長田野町1丁目5番地  
氏 名 扶桑化学工業(株)京都事業所  
事業所長 杉田 真一  
電話番号 0773-27-6925

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	扶桑化学工業(株)京都事業所
事業場の所在地	福知山市長田野町1丁目5番地
計画期間	平成30年4月～平成31年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	15,902,736千円
③従業員数	306名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物 <ul style="list-style-type: none"> <li>├ 自己再生処理</li> <li>├ 委託処理             <ul style="list-style-type: none"> <li>├ 中間処理 再生もしくは燃焼</li> <li>└ 埋立処分</li> </ul> </li> </ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 ( 29 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	7.7 t	1,595.3 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	8 t	1,600 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 不良率の低減や、生産工程の更なる効率化により、生産増に伴う (計画) 廃棄物の増量を極力抑えていく ・ 汚泥に関しては、肥料化を含めた有価取引の可能性を調査する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物の種類に分けて廃棄している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物種類の分別をより一層取り組む。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	<b>【前年度（ 29 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	<b>【前年度（ 29 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・該当せず			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当物なし	該当物なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	7.7 t	1,595.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1,208.2 t
	再生利用者への処理委託量	7.7 t	1,403.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・廃油の可能な限り再生・中和業者への委託 ・汚泥は一部肥料化		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	8 t	1,600 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	1,200 t
	再生利用業者への 処理委託量	8 t	1,400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への委託を優先的に行う。 ・有価取引が可能になる汚泥不純物の調整を行う。			
※事務処理欄			

## (別紙1-1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排出量	4.4 t	293.8 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排出量	10 t	280 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 不良率の低減や、生産工程の更なる効率化により、生産増に伴う(計画) 廃棄物の増量を極力抑えていく		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 中和処理の業者に優先的に引取りを行ってもらい、可能な限り焼却処分にならないようにしている。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 工程の改良により、発生量の抑制を行う。		

## (別紙1-2)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

② 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 処理設備を有しておらず、再生利用は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

② 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・ 該当せず			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・ 特になし			

## (別紙1-3)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	4.4 t	293.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t	293.5 t
	再生利用業者への処理委託量	2.7 t	293.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃アルカリは、不純物低減により、中和処理業者への取引率を増加させた。		



## (別紙1-4)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	10 t	280 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	8 t	280 t
	再生利用業者への 処理委託量	8 t	280 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への委託を優先的に行っていく。			
※事務処理欄			

## (別紙 2 - 1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	排 出 量	112.9 t	2.4 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	排 出 量	80 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 不良率の低減や、生産工程の更なる効率化により、生産増に伴う（計画）廃棄物の増量を極力抑えていく		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、金属くず、木屑、瓦礫類の分別を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類は、更に分別を細分化し、種類ごとの分別徹底を行い、再生利用業者と取引を行えるようにする。		

## (別紙2-2)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

③ 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

③ 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・該当せず			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	全処理委託量	112.9 t	2.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・減量に努めている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	全処理委託量	80 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチックの更なる分別により、再生可能なプラスチックを増加させる。社内分別をより一層取り組む。</li> <li>・生産増に伴う増加分を抑制していく。</li> </ul>			
※事務処理欄			

## (別紙 3 - 1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
④ 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	排 出 量	15.3 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	排 出 量	20 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 原料等購入業者に、引き取りを依頼する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 木屑として、完全に分別し専門業者に引き取りをしてもらっている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状の計画を維持しながら、可能であれば有価取引に変更する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
④ 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
④ 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## (別紙3-3)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	全処理委託量	15.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	15.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	15.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・優良業者への委託を優先している。		



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	全処理委託量	20 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	20 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者へ100%委託する。		
※事務処理欄			